

Ⅱ 奈良県の子ども、若者の未来への責任

こども・子育て施策の推進

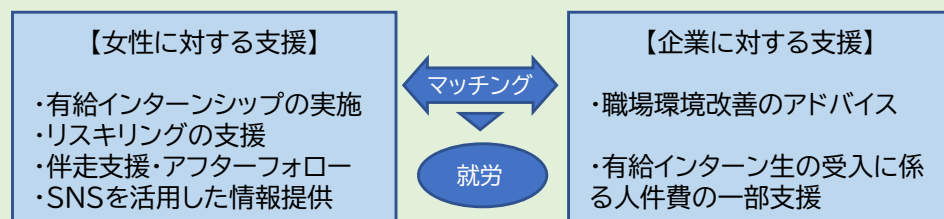
R 8 予算案 6.4 億円 R 7.2 月補正予算案 3.3 億円
R 9～10 債務負担行為 4.5 億円 (R 7 予算 6.4 億円)

男女ともに仕事と家庭・子育てを両立できる職場環境の整備

①働きやすい職場づくりと女性の就労支援を推進

R 8 予算案 6,743 万円 (R 7 予算 7,282 万円)

- ・子育て中等就労に踏み出せない女性に対して、有給インターンシップやリスキリングの実施により女性の正規雇用を促進
- ・有給インターンシップ受入企業の職場環境改善を支援



個人の希望に応じた選択ができるよう、結婚、妊娠、出産、子育ての切れ目のない支援の充実

②こども・子育てDXの推進

R 8 予算案 1,046 万円 (R 7 予算 556 万円)

- ・こども・子育て分野のDXを推進するため、市町村との電子母子手帳の共同化に向けた基本設計の実施

〈問い合わせ先〉	①	こども・女性局	こども・女性課	平野課長補佐 (内線 6 1 5 1 4)
	②	こども・女性局	こども・女性課	水野主任調整員 (内線 6 1 5 1 5)
	③ ④	こども・女性局	こども家庭課	伊豆藏課長補佐 (内線 6 1 5 7 2)
	⑤ ⑥	教育委員会	教育研究所	北口部長 0744-33-8908

困難な状況に置かれているこども・子育て世帯に対する相談体制、支援等の充実

③(新)低所得のひとり親世帯への生活支援

R 7.2 月補正予算案 3.3 億円 (R 7 予算 -)

- ・食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得のひとり親世帯に対し、生活支援のための給付金を支給

対 象 児童扶養手当受給世帯
補助単価 児童 1 人あたり 2 万円
支給方法 児童扶養手当支給口座への振込

④ヤングケアラー支援体制の強化

R 8 予算案 1,162 万円 (R 7 予算 1,100 万円)

- ・(新)連絡調整等の全般を統括するコーディネーターを 1 名増員
- ・(新)ヤングケアラー支援マニュアルの作成

⑤スクールカウンセラー配置の充実

R 8 予算案 1.7 億円 (R 7 予算 1.5 億円)

- ・すべての公立学校に配置を拡充
- ・公立中学校、公立義務教育学校の配置回数の下限を引上げ (月 1 回→2 回)

⑥SNSによる相談体制の充実

R 8 予算案 592 万円 (R 7 予算 779 万円)

- ・LINE 相談窓口を 365 日対応に拡充

こども・子育て施策の推進

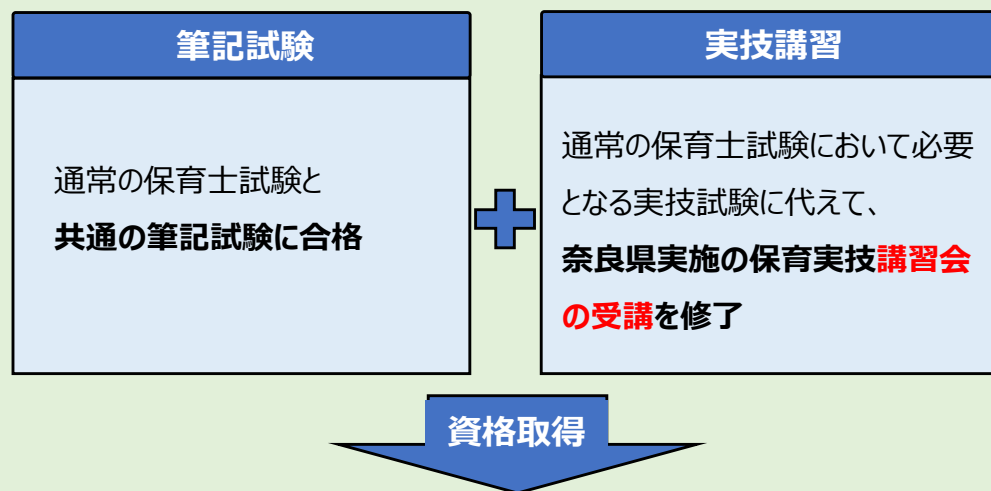
こどものすこやかな成長と子育て世帯を支える教育、保育等の体制整備

⑦ ⑧ ⑨ 地域限定保育士制度の導入による保育人材の確保

R 8 予算案 550万円 (R 7 予算 -)

- ・ 保育人材の確保を図るため、児童福祉法の改正により、全国展開された「地域限定保育士試験」を実施

地域限定保育士資格の取得フロー



地域限定保育士として登録後、3 年間は奈良県のみで保育士として働くことができる。

(1 年以上の勤務経験があれば 4 年目以降は県外での勤務が可能)

⑧ 研究会を通じた保育の質と職場環境改善の推進

R 8 予算案 899万円 (R 7 予算 899万円)

- ・ 保育人材の確保・定着を図るため、R 7 に設立した保育士、有識者等で構成する研究会を活用し、保育の質や職場環境を向上させる取組を実施
- ・ 保育現場での働き方改革マニュアルの普及促進や専門家派遣による職場環境改善

⑨ ベビーシッターを利用した子育て支援の実施

R 8 予算案 1,000万円 (R 7 予算 1,800万円)

- ・ 就労の有無にかかわらず、子育て家庭の負担を軽減するため、ベビーシッターの利用料助成を行う市町村に対し 1 / 2 を補助
- ・ ⑨ 対象年齢を 3 歳未満から就学前児童へ拡充

ジェンダーギャップの解消を始めとした社会全体の意識・構造の改革

⑩ ⑪ ⑫ 年齢や性別に関係なく誰もが働きやすい環境づくりの推進

R 8 予算案 260万円 (R 7 予算 -)

- ・ モデルとなる市町村と域内の企業、団体とが連携して各職場の環境や働き方を改善していくことを支援するとともに、当該市町村の取組の横展開を実施。

〈問い合わせ先〉	⑦ ⑧	こども・女性局	こども保育課	山本課長補佐 (内線 6 1 5 4 3)
	⑨		こども保育課	岡村課長補佐 (内線 6 1 5 4 2)
	⑩	こども・女性局	こども・女性課	平野課長補佐 (内線 6 1 5 1 6)

こども・子育て施策の推進

こども、子育てにやさしいインクルーシブなまちづくり

⑪ぬくもりあふれる公園プロジェクト

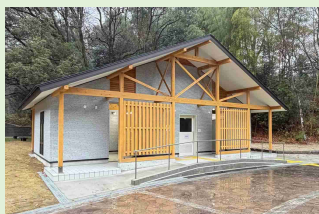
R 8 予算案 3.2 億円 (R 7 予算 2.6 億円)

R 9～10 債務負担行為 4.5 億円

- ・全ての世代にやさしい公園機能を拡充するため、県営都市公園の施設・設備の整備を実施



段差の解消



トイレ、授乳施設の整備



おもしろい駐車場の設置



休憩施設の設置

⑬こどもや高齢者を地域で守る取組の促進

R 8 予算案 360 万円 (R 7 予算 430 万円)

- ・こどもや高齢者に対する犯罪・事故の防止に向け地域住民による主体的な防犯・見守り活動の実効性を高めるための防犯・交通安全設備等の導入を支援

⑫まほろば健康パークの機能強化

R 8 予算案 1,743 万円 (R 7 予算 9,503 万円)

- ・令和12年度中の供用開始に向け、運営先行型 P F I 方式による事業を推進するため、令和 8 年度に管理運営事業者の選定を実施



〈問い合わせ先〉 ⑪ ⑫ まちづくり推進局 公園企画課 甲賀主幹 (内線 6 4 1 9 5)
⑬ 地域創造部 県民暮らし課 松原課長補佐 (内線 6 1 2 7 2)

高校授業料の無償化

R 8 予算案 9.1億円 (R 7 予算 12.8億円)

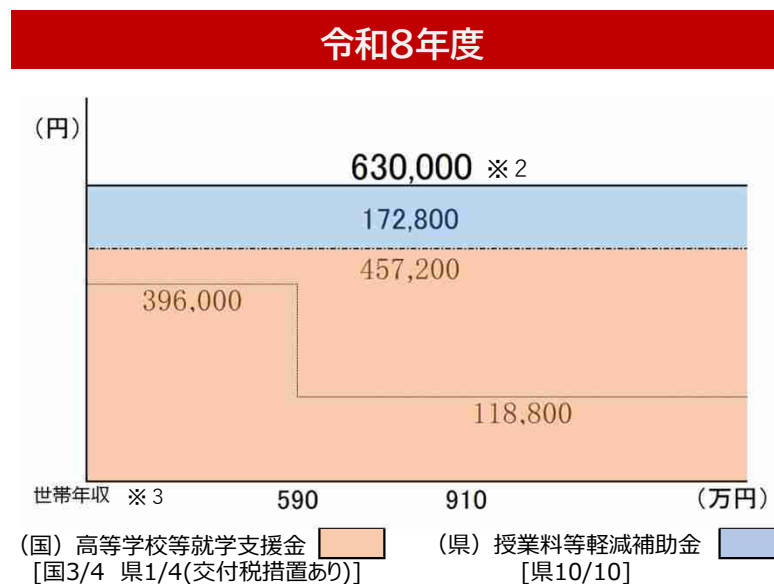
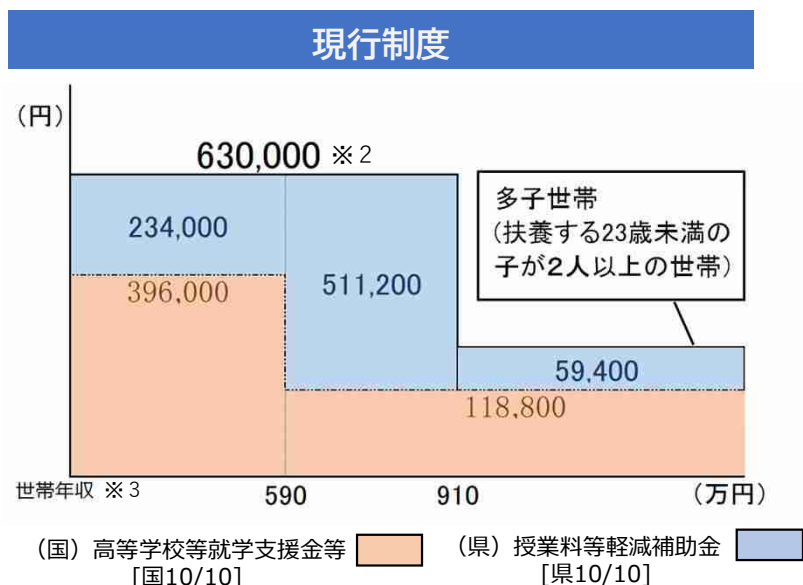
高等学校授業料等の支援制度を拡充 (国の就学支援金に県が上乗せして支援)

こどもたちが家庭の経済的状況にかかわらず、希望する進路を選択できるよう授業料等を支援

1. 対象世帯：県内に保護者が在住し、こどもが県内の私立高等学校等に通う世帯
2. 拡充内容：**所得制限を撤廃し、全世帯に対して**、国の就学支援金と合わせ、最大63万円を支援

※国公立高等学校は、令和7年度から所得制限なしに最大11万8,800円を支援することで無償化が実現済

【私立高等学校等※1 (全日制・定時制)の支援イメージ】



※1 私立高等学校・高等専門学校・私立専修学校(高等課程(3年制))(通信制高校については、県内に設置された県の認可校に限る)

※2 通信制は32万1000円

※3 世帯年収は、両親の一方が働いていて、高校生1人、中学生1人のサラリーマン世帯の場合の目安

〈問い合わせ先〉 ① 地域創造部こども・女性局教育振興課 関戸課長補佐 (内線61242)
② 教育委員会事務局学校支援課 甲斐課長補佐 (内線64782)

学校給食費の無償化

R 8 予算案 33.7 億円 (R 7 予算 ー)

⑧ 保護者負担となっている学校給食費（食材費）の負担軽減を通じた子育て支援を実施

R 8 予算案 33.7 億円

- ・【補助対象経費】
公立の小学校（義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部を含む）の学校給食費
 - ・【補助額】
市町村立学校 給食実施校の在籍児童数×月額5,200円(※)×11ヶ月分を国1/2、県1/2で負担
特別支援学校 給食実施校の在籍児童数×月額6,200円(※)×11ヶ月分を国1/2、県1/2で負担
- (※) 基準額：令和5年度学校給食実施状況調査における平均額に近年の物価動向を加味して設定
◎基準額を下回る市町村についてはその金額を補助



〈問い合わせ先〉教育委員会事務局体育健康課 福井課長補佐（内線65002）

県立学校の環境改善

R8予算案 39.7億円 (R7予算 27.4億円)
R9～10債務負担行為 51億円

① 県立高校トイレピッカピカ5カ年計画を推進

R 8 予算案 29.5億円 (R 7 予算 13.6億円)

R 9～10債務負担行為 43.5億円

- R 6 年度～10年度でトイレの洋式化・乾式化等
- R 8 年度は8校で工事完了、残りの高校についても順次工事着手

【工事完了後】



② 特別教室、体育館等への空調設備の設置

R 8 予算案 4.6億円 (R 7 予算 6.8億円)

R 9 債務負担行為 3.8億円

【特別教室：R 8 年度中に全校設置完了予定】

- ・稼働率の高い教室を優先して空調設備を設置 (6校10室)

【体育館：R 13年度中に全校設置完了予定】

- ・授業中等の熱中症対策のために空調設備を設置
(県立高校：設計5校、特別支援学校：2校に設置)



③ 県立学校の老朽化対策

R 8 予算案 5.6億円 (R 7 予算 7億円)

R 9 債務負担行為 3.7億円

- ・屋上防水改修等の大規模な改修
- ・教育環境改善のための修繕や備品更新等

〈問い合わせ先〉教育委員会事務局学校支援課 竹谷課長補佐 (内線64783)